

◆◆プログラム報告◆◆

2009年度 カウンセリング事例研究会

子どもたちの抱える問題は多様化

7月4日、YMCA学院高等学校において「キリスト教学校教育同盟関西地区カウンセリング研究会2009年度第2回事例研究会」が開催されました。清教学園、大阪女学院、同志社中学・高校などから約40名が集まりました。精神科医工藤信夫先生を助言者として招き、本校生徒の事例をもとに研究会が進められました。まず、本校教員でカウンセラーの石井邦也さんが発表し、その後参加者からの意見も交わされていきました。

六甲山 グループ祭

冬の氷が残っていたよ!

6月7日に「第26回六甲山グループ祭(夏山開き)」が記念碑台で開催されました。六甲山開祖のアーサー・ヘスケス・グルーム氏の功績を称え、本格的な夏山シーズンを迎えるにあたり、山上の皆さんで安全祈願を行うものです。YMCAの氷室から、氷をかごで運び出し、うりぼうクラブのメンバー、地元外国人の子どもたち、シニアボランティア、頌栄短期大学の学生など40名が大行列になって歩き、山上の道に「かーんごーり」という呼び声が響き渡りました。当日は、2000名余りの参



6月6日、7日の2日間、南あわじ市伊加利地区との交流会がありました。継続的に交流をしようということで、4年前から1年に2、3回行われています。学生は毎回、大人向けに自国の言葉や文化を紹介



日本語学校 南淡路春の交流会

蛭狩りや玉ねぎの収穫を体験

介し、子どもたちとはゲームや歌などの活動を通して交流を深めています。交流会の内容は学生に任せられているため、事前に打ち合わせをして準備をしなければなりません。今回も5回にわたるミーティングを行い、ああでもない、こうでもないという悩みをこまめに解決して

特に今回は4月に来日したばかりの学生が多く、緊張しただろうと思います。しかし、彼らは堂々と交流会のプログラムをこなし、いつの間にか地元の方たち、子どもたちの輪の中に入っていました。自然に輪の中に入っていました。この交流会のいいところだと思います。また、お互いに知らない学生同士が徐々に打ち解け、まとまっていけるのも、この交流会ならではだと思います。前日よりちょっとたくましくなった学生の姿を見るのは嬉しいものです。毎回地元の方々のご厚意でいろいろな体験をさせていただいています。今回は蛭狩りや玉ねぎの収穫をすることができました。お母さん方の手作りイチゴ大福も好評でした。

予算の関係でこの交流会は今年度までとなってしまい、次回の12月の交流会が最後となります。残念ではありますが、楽しくにぎやかに締めくくりたいと思います。(佐藤真紀・日本語学校講師)

国際リレーエッセイ ⑩



～東ティモールより～ 前編 石橋 英樹さん

東ティモールは、世界で最も新しい国のひとつで、赤道の少し南、オーストラリアの北に位置する小島の東半分だけを国土にもつ東南アジアの小国です。日本から行くには經由地であるインドネシアのバリで1泊する必要がありますので、実際の距離よりも遠く感じます。大阪府の約8倍、岩手県よりも少し小さい国土に100万人ほどの東ティモール人が暮らしています。白檀に目を付けたポルトガルが植

民地にした16世紀以降、常に日本を含む大國の都合に振り回され続けてきました。冷戦の終結、アジア通貨危機を経た20世紀の終盤、長年に亘る多くの犠牲の結果、ようやく独立することが決まりました。しかし、国としての歴史を持たず、政治、社会、経済的基盤は非常に脆弱だったため、「民主的」な国連主導で創設された統治機構による準備を経て、2002年に独立国として世界から承認されました。また、準備期間から現在まで、国連や現地政府を補完する形で外国政府や国際NGOが大規模に活動を展開する、ユニークな国づくりが行われてきました。現在は、東ティモール人による政府がある程度機能してはいますが、そ海外か



1991年、独立を求める多くの青年が犠牲になったサンタクルス事件。世界中に報道され国際世論の注目を集めた。写真は毎年行われている記念行事の様子

みなと(弁天町)・土佐堀・大阪南(天王寺)YMCAの成人プログラム

脱メタボリックシンドローム! 元気な中高年を目指して

生活習慣の変化や高齢者の増加などにより、近年、糖尿病などの生活習慣病が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にもものぼると推計されています。生活習慣病は、バランスの取れた食生活や適度な運動習慣により予防可能です。大阪市内にあるYMCAの成人プログラムの施設を相互に利用できることをご存知ですか? みなとYMCAは成人のための総合施設で、体育館・スタジオ・プール・ウエイトトレーニングなどすべてのプログラムを楽しめます。土佐堀YMCAは体育館での球技やエアロビクス、ヨガ、南YMCAは水泳中心のプログラムを行っています。

Quality of Life (QOL)。充実感や満足感を持って日常生活を過ごすことができるように、この秋、体を動かすことから始めてみませんか?

(野口賢太郎・みなとYMCAスタッフ)

詳細は下記まで。

- みなとYMCA 06-4395-1001
土佐堀YMCA 06-6441-0895
南YMCA 06-6779-8362

地の指導者たちにはYMCAに対するネガティブな感情が残りました。そうした状況の中、アジア太平洋同盟が日本同盟、韓国連盟と協力して再度取り組むことになった2005年、私が現地に赴任し、ゼロからの、というよりもマイナスからの「YMCAづくり」が始まりました。(次号に続く)

◆筆者紹介◆

石橋英樹さん
広島YMCA、韓国YMCAでの勤務を経て、東ティモールYMCA創立のため2005年から協力スタッフとして同国に駐在。昨年帰国し、今年3月から大阪YMCAに入職。